

建築工事施工計画報告書

建築基準法第12条第5項の規定に基づき、下記のとおり建築工事施工計画を報告します。
この報告書及び添付図書に記載の事項は、事実と相違ありません。

(宛先) 中央区長

中央区の様式で提出してください。

平成〇〇年〇月〇〇日

提出時に記入してください。

代表となる

工事監理者 住所 東京都中央区〇-〇 電話 03(〇〇〇) 〇〇〇
 会社名 (株)中央設計 (一)級建築士事務所(都知事)登録第(〇〇〇)号
 氏名 中央 太郎 (印) (一)級 建築 士(大臣)登録第(〇〇〇)号

工事施工者 住所 東京都中央区〇-〇 電話 03(〇〇〇) 〇〇〇
 会社名 (株)中央組 建設業の許可 大臣・知事〇〇第(〇〇〇)号
 氏名 代表取締役 京橋 一郎 (印)

(法人にあつては、その事務所の所在地、名称及び代表者の氏名)
 品質窓口責任者氏名 銀座 次郎 (印) 電話 03(〇〇〇) 〇〇〇

品質管理に関して本社の支援体制が有る場合は、その責任者の氏名を記入してください。

確認申請書等と内容を合わせてください。

記

(1) 工事現場	①名称	(仮称) 中央区築地一丁目計画	1棟	③工事の種類	新築・増築・改築
	②所在地	中央区 築地一丁目128番地1			
(2) 建築主	氏名	(株)〇〇不動産 代表取締役 〇〇 〇〇	住所	中央区築地〇-〇 電話 03(〇〇〇) 〇〇〇	
(3) 代表となる設計者	氏名	中央 太郎	所属会社	(株)中央設計 電話 03(〇〇〇) 〇〇〇	
(4) 構造設計者	氏名	構造 〇男	所属会社	(株)中央設計 電話 03(〇〇〇) 〇〇〇	
(5) 現場代理人(所長)	氏名	施工 〇次	現場事務所	中央区新富〇-〇 電話 03(〇〇〇) 〇〇〇	
(6) 品質管理責任者	氏名	施工 〇次	所属会社	(株)中央組 電話 03(〇〇〇) 〇〇〇	
(7) 階数	地上12階・地下1階 塔屋 階		(8)建築面積	〇〇〇.〇〇m ²	(9)延べ面積 〇〇〇〇.〇〇m ²
(10) 高さ	軒高 〇〇.〇m 最高 〇〇.〇m		(11)確認済証交付機関	中央区	
(12) 確認・計画通知、年月日及び番号	平成〇〇年 〇月〇〇日		第 〇〇〇 号		
(13) 計画変更・年月日及び番号	年 月 日		第 号(変更内容は別紙)		
(14) 構造計算の方法	(X)ルート1-()・ルート2-()・ルート3 (Y)ルート1-()・ルート2-()・ルート3		限界耐力計算・時刻歴応答解析 (その他())		
(15) 構造	RC造・WRC造	B1階から12階まで	(16) 使用部位	PCa・HPCa	梁(PCa)
	SRC造	階から 階まで		PC	
	S造	階から 階まで		CFT	
		階から 階まで			
(17) 認定材料	コンクリート	(認定材料名・認定番号)		※ 受付欄	
	鋼材等			記入しないでください。	
	免震・制振部材				
	その他				
		法第37条第2号の大臣認定材料を使用する場合は、材料名、認定番号を記入してください。			

- (注意) 1 ※印のある欄は、記入しないでください。
 2 工事監理者又は工事施工者の氏名(法人の場合にあつては、代表者の氏名)の記載を自署で行う場合においては、押印を省略できます。
 3 工事監理者及び工事施工者は、本報告書の記載内容と確認済証及び設計図書等が整合しているか十分確認して記入してください。

コンクリート使用材料及び施工											
基礎の種類		<input type="checkbox"/> 直接基礎 { <input type="checkbox"/> ベタ基礎 <input type="checkbox"/> 布基礎 <input type="checkbox"/> 独立基礎 } <input checked="" type="checkbox"/> 杭基礎 <input type="checkbox"/> 打込み杭()、 <input type="checkbox"/> セメントミルク工法による埋込み杭、 <input type="checkbox"/> オールケーシング工法、 <input checked="" type="checkbox"/> アースドリル工法、 <input type="checkbox"/> リバースサキュレーション工法、 <input type="checkbox"/> 拡底杭工法()、 <input type="checkbox"/> その他()工法									
コンクリート強度 (N/mm ²)	使用工法	在来			基準		<input checked="" type="checkbox"/> JASS5 (2015年版) <input type="checkbox"/> その他()				
	使用部位	杭	基礎	B1階~1階	2階~6階	7階~12階	階~階	階~階			
	設計基準強度	30	30	39	36	30					
	使用工法	PCa				軽量()種	モルタル	グラウト			
	使用部位	1階~12階	階~階	階~階	階~階	階~階					
設計基準強度	33										
塩害対策の有無		有(対策方法)			<input checked="" type="checkbox"/> 無		アルカリ骨材対策		試験成績書(無害判定)を確認		
設計かぶり厚さ (cm)	部位	柱		梁		床		耐力壁		非耐力壁	
		屋外	屋内	屋外	屋内	屋外	屋内	屋外	屋内	屋外	屋内
	土に接しない部分	3+2	3+1	3+2	3+1	2+	2+2	3+2	3+1	工事監理者側から選任してください。	
	土に接する部分	4+1		4+1		4+1		4+		4+	6+1
検査計画	検査担当者(工事施工者)氏名 施工 ○次 (※工事施工者の中から選任して下さい)										
	検査項目							工事監理者又は係員氏名	立会検査の有無	常駐非常駐	
	打込前	<input checked="" type="checkbox"/> 試練 <input checked="" type="checkbox"/> 散水 <input checked="" type="checkbox"/> 配筋 <input checked="" type="checkbox"/> かぶり厚さ						構造 ○男	有 無	常 非	
	打込中	<input checked="" type="checkbox"/> テストピース採取 <input checked="" type="checkbox"/> 打込速度・順序 <input checked="" type="checkbox"/> 締固め						構造 ○男	有 無	常 非	
	打込後	<input checked="" type="checkbox"/> 養生方法 <input checked="" type="checkbox"/> 養生温度 <input checked="" type="checkbox"/> 打込欠陥						構造 ○男	有 無	常 非	
	エア・スランブ試験等の代行業者名		○○建材研究センター(株) ← コンクリート採取試験会社登録名簿より業者を選定してください。								
供試体の養生場所		東京都○○市○-○-○ ○○建材研究センター(株) 標準水中養生水槽									
構造体コンクリート試験機関名		36N/mm ² 以下の場合 ○○建材研究センター(株) 都登録第試A14-(△)-△号 36N/mm ² 超の場合 (公財)東京都防災・建築まちづくりセンター 都登録第試B15-(□)-□号									
打ち込み欠陥部の検査方法等		目視及び打診にて確認 ← 東京都知事登録試験機関より選定してください。									
鉄筋使用材料及び施工											
使用鉄筋	種別	SD295A		SD345		SD390		SD490		その他()	
	使用径	D10 ~D16		D19 ~D25		D29 ~D35		D ~D		D ~	
鉄筋確認項目	施工	継手種類		圧接継手		機械式継手		溶接継手		重ね継手(その他)	
		使用箇所		基礎・柱主筋		基礎梁					
		継手工法名(溶接材料)				○○ジョイント					
		継手施工会社(優良圧接業者)		○○圧接(株)		(株)○○					
		S A 級 継手				有・無					
		A 級 継手		有・無		有・無		有・無			
				A 級 その他		S A, A 級 その他		A 級 その他			
	技量確認・施工前試験		有 無		有						
	冷間直角カッターの使用		有 有								
	試験・検査	外観検査(%)		100 100		100					
引張試験のみ(本/ロット)				5/1							
超音波探傷・測定検査(本/ロット又は%)		30%		6%				東京都知事登録試験機関より選定してください。			
引張試験併用(本/ロット)		10/1		無							
引張試験機関名		○○事務所(株)				都登録第試A-(×)-×号					
非破壊検査機関名		(株)○○エンジニア		検査者 ○○ ○○ 資格 3種-○○○○○○		都登録第筋-○○-(○)-○号					
梁貫通口補強	補強方針		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 在来工法		<input checked="" type="checkbox"/> 既製品((製品・工法名)) <input type="checkbox"/> 無						
	構造検討		<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無						東京都鉄筋継手検査機関より選定してください。		
	使用部位		基礎梁								

コンクリートの設計及び仕様による条件

番号	a 打込箇所 b 打設期間	※1 コンクリートの種類1	設計基準強度 (N/mm ²)	強度管理材齢 (日)	生工場 コン名	セメントの種類	単位セメント 量(kg/m ³)	スランブ スランブフロー(cm)
			品質基準強度 (N/mm ²)	養生方法		骨材の産地	水セメント比 (%)	※6 混和剤の種類
枝番	c 適用期間	※2 コンクリートの種類2	呼び強度 (調合管理強度)	判定基準強度 (N/mm ²)※3	※4	コンクリート 温度(℃)※5	空気量 (%)	混和剤
1	杭 H29.0.0~ H29.0.0 (H29.0.0~ H29.0.0)	普通	30	28	A	N	380	18
		水中	30	標準		神奈川県	45.2	高性能 AE 減水剤 (標準形)
			30+3	30+3		-	4.5	〇〇〇〇他
2	基礎 H29.0.0~ H29.0.0 (H29.0.0~ H29.0.0)	普通	30	28	B	N	360	18
		マスコン	30	標準		東京	50.1	高性能 AE 減水剤 (標準形)
			30+3	30+3		35℃以下	4.5	〇〇〇〇他
3	基礎立上~ B1床 H29.0.0~ H29.0.0 (H29.0.0~ H29.0.0)	普通	39	28	A	N	500	18
		高強度	39	標準		千葉	40.6	高性能 AE 減水剤 (標準形)
			39+6	39+6		35℃以下	4.5	〇〇〇〇他
打設箇所(階)ごとに、期間を記入してください。			JASS5-2009、2015 では、品質基準強度に補正値を加えた+表記で記入してください。					
5	1階立上~ 2階床 H29.0.0~ H29.0.0 (H29.0.0~ H29.0.0)	普通	36	28	B	N	360	18
		暑中	36	標準		青森県	49.8	AE 減水剤 (遅延形)
			36+6	36+6		35℃以下	4.5	〇〇〇〇他
6	2階立上~ 3階床 H29.0.0~ H29.0.0 (H29.0.0~ H29.0.0)	普通	36	28	B	N	357	18
		暑中	36	標準		山口県	50.1	AE 減水剤 (遅延形)
			36+6	36+6		35℃以下	4.5	〇〇〇〇他
1つの打設箇所に対して複数の生コン工場の計画(候補)がある場合は、工場ごとに様式その2、その3を作成してください。								
15	11階立上~ 12階床 H29.0.0~ H29.0.0 (H29.0.0~ H29.0.0)	普通	30	28	A	N	367	18
		通常	30	現水		高知県	45.9	AE 減水剤 (標準形)
			30+3	30+3		-	4.5	〇〇〇〇他
16	12階立上~ R階床 H29.0.0~ H29.0.0 (H29.0.0~ H29.0.0)	普通	30	28	A	N	358	18
		通常	30	現水		栃木県	47.1	AE 減水剤 (標準形)
			30+3	30+3		-	4.5	〇〇〇〇他
c.適用期間及び補正値は、平成28年12月9日付け28都市建企第764号「構造体強度補正値の適用期間の見直しについて(通知)」で定める期間及び値を記入してください。								

(注意) ※1 から ※6 までについては、その 4 を参照のこと。

コンクリート試験計画及び鉄筋試験計画一覧

番号	打込箇所	打込予定年月日 (年 月 日)	コンクリート圧縮 試験回数 ※7	※4 生コン工場名	番号	鉄筋接合箇所 (継手種類)	継手予定年月日 (年 月 日)	鉄筋引張 試験回数 ※9	超音波探傷・測定検査 (本/ロット又は%)
枝番		打込予定数量 (m ³)	うち防災センター 試験回数	※8 圧送計画	枝番		継手予定数量	うち防災センター 試験回数	うち引張試験併用 (本/ロット)
1	杭	H29. 〇.〇~ H29.〇.〇	8	A	1	地中梁 (ガス圧接継手)	H29. 〇.〇~ H29.〇.〇	4	30%
		1060	0	a			630	0	40本/4ロット
2	基礎	H29. 〇.〇~ H29.〇.〇	4	B	2	B1階梁 (ガス圧接継手)	H29. 〇.〇~ H29.〇.〇	2	30%
		470	0	b			310	0	20本/2ロット
3	基礎立上 ~ B1床	H29. 〇.〇~ H29.〇.〇	2	A	3	1階柱 (ガス圧接継手)	H29. 〇.〇~ H29.〇.〇	3	30%
		470	2	a			420	0	30本/3ロット
15	11階立上 ~ 12階床	H29. 〇.〇~ H29.〇.〇	3	A	15	〇階柱 (機械式継手)	H29. 〇.〇~ H29.〇.〇	2	6%
		350	0	a			300	0	0
16	12階立上 ~ R階床	H29. 〇.〇~ H29.〇.〇	3	A	16	〇階梁 (機械式継手)	H29. 〇.〇~ H29.〇.〇	2	6%
		350	0	a			300	0	0
合計		打込予定数量 〇〇〇〇.〇〇m ³	コンクリート圧縮試験回数 〇回 うち防災センター試験回数 〇回	合計	〇〇〇〇箇所	鉄筋引張試験回数 〇回 うち防災センター試験回数 〇回	超音波探傷・測定検査 〇本/〇ロット うち引張試験併用 〇本/〇ロット		
供試体試験 1回の試験のうち (告示第1102号)	28日 日 日	3本 本 本	支柱早期除去用 部位(梁下・床下)	14日	3本	PS導 入用	日 本		

(注意) 1 防災センターとは、(公財)東京都防災・建築まちづくりセンターのことをいう。

2 ※4及び※7から※9までについては、その4を参照のこと。

レディーミクストコンクリート工場一覧

A	工場名称	○○建材(株) ××工場		B	工場名称	□□コンクリート(株) △△工場	
	JIS表示許可番号	AB1234			JIS表示許可番号	CD5678	
	許可品目	普通・高強度	運搬時間 30分~40分		許可品目	普通・軽量	運搬時間 50~60分
	水の種類	上水道水			水の種類	工業用水	
C	工場名称			D	工場名称		
	JIS表示許可番号				JIS表示許可番号		
	許可品目				許可品目		
	水の種類				水の種類		
E	工場名称			F	工場名称		
	JIS表示許可番号				JIS表示許可番号		
	許可品目				許可品目		
	水の種類				水の種類		
G	工場名称			H	工場名称		
	JIS表示許可番号				JIS表示許可番号		
	許可品目				許可品目		
	水の種類				水の種類		

コンクリート圧送ポンプ一覧

a	型番	PO-11			b	型番	P×-22		
	性能	12.5cm	100m ³ /h	5.0N/mm ²		性能	15cm	90m ³ /h	6.0N/mm ²
c	型番				d	型番			
	性能	cm	m ³ /h	N/mm ²		性能	cm	m ³ /h	N/mm ²

- (注意) 1 コンクリートの使用骨材による種類を記入する。
 2 コンクリートの使用材料・施工条件・要求性能などによる種類(通常、寒中、暑中、軽量、流動化、高流動、高強度、マスコン、プレストレスト、水中、水密)を記入する。
 3 高強度コンクリートの場合は、 $F_q + nS_n + 1.05\sigma$ のそれぞれの項の値を()中に記入する。
 4 生コン工場はその4様式による記号で表示する。
 5 高強度・マスコン・暑中・寒中コンクリートについては、必ず記入する。
 6 混和剤の商品名及び種類(AE剤、減水剤、AE減水剤、標準形、促進形、遅延形)などを記入する。AE減水剤等の化学混和剤以外の混和剤を使用する場合は、塩化物量が分かるものを添付する。
 (混和剤の種類によっては、塩化物試験に有害イオンとして作用するものがあるので、注意すること。)
 7 コンクリートの圧縮試験回数は、打込工区ごと、打込日ごと、かつ150m³(高強度はJASS5-2003,2009及び2015は300 m³)に1回で適当な間隔をおいた3台のトラックアジテータから1台につき3個ずつ計9個以上)又はその端数ごとに1回以上とする。
 8 圧送計画は、その4による記号で表示する。
 9 鉄筋の引張試験回数は、200箇所又はその端数ごとに1回以上とする。

中央区内は寒中コンクリートの適用はありません。